

ESGへの取り組み(環境)

重要課題(マテリアリティ)に沿った取り組み

| 重要課題 (マテリアリティ) | 方針・目標 | KPI・目標 |
|-------------------|---|--|
| 気候変動への対応 | <ul style="list-style-type: none"> プロパティマネジメント会社、ビルメンテナンス会社と協働して温室効果ガスの排出量の管理と削減を行い、福岡・九州の自然保持に貢献する | <ul style="list-style-type: none"> (2030年までに) CO2排出量35%削減(2019年比、原単位) |
| 資源の循環・効率活用 | <ul style="list-style-type: none"> プロパティマネジメント会社、ビルメンテナンス会社と協働して資源(エネルギー・水)の効率的な利用、および廃棄物・水の資源循環を高め、福岡・九州の自然保持に貢献する | <ul style="list-style-type: none"> (2030年までに) ゴミリサイクル率75% |
| 自然災害対策 | <ul style="list-style-type: none"> 定期的な保有不動産のリスク評価を実施して不動産レジリエンスの維持向上に努め、テナントや地域社会の安全・安心に貢献する | <ul style="list-style-type: none"> (2030年までに) グリーンビル認証取得率85%以上 |
| 環境問題解決に向けた事業運営 | <ul style="list-style-type: none"> 定期的な保有不動産の性能評価及び機能評価を実施し、陳腐化した性能等の更新を行い、資産価値向上に努める グリーンビル認証等を取得し、建物性能を可視化することで資産価値を高め、テナントへの訴求力向上を図る | <ul style="list-style-type: none"> (2030年までに) グリーンビル認証取得率85%以上 |

環境

気候変動への対応／資源の循環・効率活用

重要課題(マテリアリティ)に掲げる環境のKPI・目標については、毎年統合報告書にて「CO2排出量」・「電気」・「水」の実績を開示している。



2024年度の統合報告書の詳細は、上記2次元コードから情報入手可能。2025年度は12月に発行予定。

◎エネルギー効率化

- ・太陽光発電システム
- ・共用部緑化、水場の配置、日陰空間創出
- ・LED化推進(共用部等)

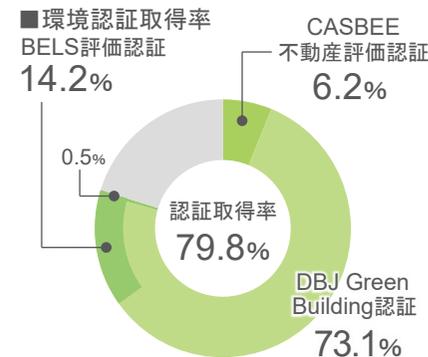
・商業施設



太陽光発電システム

■グリーンビル認証

全ポートフォリオにおける認証取得率79.8%



※2025年8月31日現在(延床面積ベース)



共用部緑化

水場の配置



日陰空間創出

LED化推進(共用部等)

・オフィスビル

ESGへの取り組み(社会・ガバナンス)

| 重要課題(マテリアリティ) | 方針・目標 | KPI・目標 | |
|---------------|-------------------------|--|---|
| 社会 | 魅力ある職場の実現 (資産運用会社) | <ul style="list-style-type: none"> 人的資本経営を強化し、多様な視点を取り入れ、従業員が働きやすい職場環境を提供することで従業員パフォーマンスの向上を図る 従業員に対する教育制度の充実と資格取得の推奨により業務の質を向上させ、運営力強化に繋げる | <ul style="list-style-type: none"> 従業員1人あたり研修(回数) オフィス環境の改善(件数) |
| | テナントエンゲージメント向上 | <ul style="list-style-type: none"> テナントとのエンゲージメントサイクルを構築し、国内外の多様な企業ニーズの理解と施設運営の改善によってテナント満足度を向上させ、安定した物件稼働を実現する | <ul style="list-style-type: none"> テナント満足度調査定期実施(全物件) |
| | 福岡・九州の魅力向上 や活性化に貢献 | <ul style="list-style-type: none"> 福岡・九州の強み・魅力の情報発信による国内外テナントの誘致促進や、地元経済界と連携した地域経済の発展促進を行い、福岡・九州地域の人々が競争力や独自性を発揮しやすい社会を作ること、資産価値向上を目指す | <ul style="list-style-type: none"> 地域経済団体等への加入・活動参加 地域交流イベントの主催(回数) エリアマネジメント組織への加入・活動参加 地域貢献活動への継続参加(回数) |
| ガバナンス | コンプライアンス/ リスクマネジメント | <ul style="list-style-type: none"> 法令等の遵守徹底、利害関係者との間での取引に係る利益相反の排除等のコンプライアンスの遵守徹底と適切なリスクマネジメントを実現する社内体制の整備・運用、並びに従業員のコンプライアンス意識の強化を行うことで、企業価値の維持及びステークホルダーからの信頼向上を目指す | <ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス研修(回数) |
| | ステークホルダーに 対する情報開示と対話 | <ul style="list-style-type: none"> ステークホルダーに対する適時・適切な財務情報/非財務情報の情報開示、コーポレートガバナンスコードに則した情報開示の徹底および積極的な対話を通じてステークホルダーとの信頼関係構築を図るとともに、得られた意見や要望を経営戦略の策定に活かす | <ul style="list-style-type: none"> 投資家との対話(回数) 従業員ESG研修(回数) |

魅力ある職場の実現 NEW

- 来客用受付パネル導入、代表電話自動取次システム導入、生成AIの業務活用開始など
- サステナビリティ表彰の実施



来客用受付パネル



サステナビリティ表彰式

テナントエンゲージメント向上 NEW

- スキルアップを目的とした物販向け研修の実施など(キャナルシティ博多)
- 求人支援の実施(キャナルシティ博多、パークプレイス大分)



物販向け研修

地域コミュニティ等への取り組み NEW

キャナルシティ博多



博多松崎子表敬訪問受入



山笠奉納

木の葉モール橋本



七夕イベント(地域連携)



選挙の期日前投票クーポン

定期的なコンプライアンス研修の実施

全役職員に対して、定期的な研修実施等により意識向上を図る

| 2022年10月～2023年9月 | 2023年10月～2024年9月 | 2024年10月～2025年9月 |
|------------------|------------------|------------------|
| 7件 | 5件 | 7件 |

(e-ラーニング含む)

投資家との対話

| | 2022年9月～2023年8月 | 2023年9月～2024年8月 | 2024年9月～2025年8月 |
|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 決算説明会 | 2件 | 2件 | 2件 |
| 国内IR(注1) | 171件 | 179件 | 171件 |
| 海外IR(注1) | 40件 | 28件 | 29件 |
| 個人投資家向けIR(注2) | 6件 | 10件 | 8件 |

(注1) 電話会議等含む (注2) 個人投資家向け決算説明会含む

従業員ESG研修の実施

2024年10月～2025年9月
4件